

授業科目名	社会調査法		授業形態	講義
英語科目名	Social survey method		開講学期	前期
対象学年	2		単位数	2
科目責任者	土屋 久		ナンバリング	4201
科目担当者				
土屋 久				
授業の概要				
<p>社会調査法は、社会科学の研究方法の一つであり、社会事象を実証的に捉えるための調査方法である。本講義では、社会調査法の歴史、目的、基本的な事項を学習し、その実際の手順を自己のものとしていく。それと同時に、単に方法を学ぶだけでなく、社会に対する関心を高め、変動の激しい現代社会を理解するための感性を磨くことをその目的とする。授業では、講義と実習を交えて進めていく。講義では、多くの具体的な事例を紹介する。</p> <p>【関連するディプロマポリシー（DP）】</p> <p>DP① グローバル化が進む国際社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、自然と人間、生命と健康、人間と社会、世界と日本など国際教養に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力</p> <p>DP② 自分とは異なる人間や文化を理解しようと心を開き、多様性を尊重し、寛容さを持って相互交流を図ることのできる能力</p> <p>DP③ 母語そして外国語でのコミュニケーション能力を駆使し、多様な人々と繋がり、自らの考えを論理的に説明し、相互の関係を築く能力</p>				
授業の達成目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会調査の基本を獲得できる。</li> <li>・社会調査の基礎的な概念を習得することができる。</li> <li>・上記と関連して、社会調査の技法を用いて、社会事象を実証的に捉えることができる。</li> </ul>				
成績評価方法				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験の内容 試験前の授業で説明をおこなう。学期末レポートを予定。</li> <li>・成績評価の内訳 授業内レポート30%、学期末レポート70%を予定。</li> </ul>				
履修上の注意（受講条件・受講に当たって学生に望むこと）				
<p>社会のさまざまな事象に興味・関心をもつ学生の受講が望ましい。</p> <p>授業では、学生諸君の積極的な授業参加を求める。授業中に、諸君の発言を求めることは当然あり、また、リアクションペーパーの提出を求める。</p>				
テキスト・参考書				
<p>テキスト：使用しない。授業内にプリント配布。</p> <p>参考書：①『新・社会調査へのアプローチ?論理と方法』ミネルヴァ書房 ②『社会調査法入門』有斐閣 ③『フィールドワーク書を持って街に出よう』新曜社 ④『質的社会調査の方法』有斐閣</p>				
オフィスアワー				
授業の前後とする。				
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法				
授業内で適宜おこなう。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等（予習、復習レポート等課題の指示）	
1	土屋久	履修にあたっての諸注意(授業の進め方、評価の方法、勉強の仕方等) 社会調査の概略	【予習】シラバスをよく見てくること。(90分) 【復習】講義内でわたしたちのプリントを見直しておくこと。 講義で扱う内容をよく検討しておくこと(90分)	
2	土屋久	社会調査とは何か? (その目的や意義等)	【予習】ギャラップなどの世論調査について調べてくること。(90分) 【復習】講義の内容をよく復習しておくこと	

			(90分)
3	土屋久	社会調査の歴史と種類	【予習】中学・高校で学習した18世紀以降の歴史を、大雑把で構わないので、見直しておくこと。(90分) 【復習】講義の内容をよく復習しておくこと(90分)
4	土屋久	質的調査と量的調査	【予習】統計について、中学・高校で学習した内容を復習しておくこと(90分) 【復習】講義の内容をよく復習しておくこと(90分)
5	土屋久	質的調査とその種類	【予習】傾聴という言葉調べておくこと(90分) 【復習】講義の内容をよく復習しておくこと(90分)
6	土屋久	フィールドワーク	【予習】現在興味のある社会事象について調べておくこと(90分) 【復習】講義の内容をよく復習しておくこと(90分)
7	土屋久	フィールドワーク2(映像から考える)	【予習】前回の講義で配布したレジュメに目を通しておくこと。(90分) 【復習】講義の内容をよく復習しておくこと(90分)
8	土屋久	参与観察	【予習】前回の講義で配布したレジュメに目を通しておくこと。(90分) 【復習】講義の内容をよく復習しておくこと(90分)
9	土屋久	参与観察2	【予習】前回の講義で配布したレジュメに目を通しておくこと。(90分) 【復習】講義内容をよく復習しておくこと。(90分)
10	土屋久	文献を読む(『忘れられた日本人』『暴走族のエスノグラフィー』を予定)	【予習】指定された文献に目を通しておくこと(90分) 【復習】講義の内容をよく復習し、指定された課題に答えること(90分)
11	土屋久	文献を読む2(『リハビリの夜』を予定)	【予習】指定された文献に目を通しておくこと(90分) 【復習】講義の内容をよく復習し、出された課題にこたえること(90分)
12	土屋久	生活史	【予習】自身のライフヒストリーを書いておくこと(90分) 【復習】授業を聞いて、自身のライフヒストリーを点検すること(90分)
13	土屋久	生活史2	【予習】自身以外で生活史をまとめてい人かを考えてみること(90分) 【復習】講義の内容をよく復習しておくこと(90分)
14	土屋久	全体のまとめ、レポートの書き方など	【予習】自身が書くレポートの対象となる人物を選んでおくこと(90分) 【復習】講義の内容をよく復習しておくこと(90分)

授業科目名	量的調査演習	授業形態	講義
英語科目名	Quantitative Research Methods	開講学期	後期
対象学年	2	単位数	2
科目責任者	大槻 茂実	ナンバリング	4202
科目担当者			
大槻 茂実			
授業の概要			
<p>食材（データ）が悪ければ、いかに優れた調理（分析）を実施しても満足のいく料理（アウトプット）は得られない。</p> <p>例えばあなたがSDGsの解決に向けた何かしらの政策提言を試みたとして。そうした提言に説得力をもたせるために「適切なデータ分析」にもとづいた「適切なアウトプット」が必要なのは想像に難しくない。そうでなければ、あなたのアイデアに反対する者を説得することなど到底できないからだ。しかしながら、「適切なデータ分析」を行うためには、そもそも「適切なデータ」が入手できなくてはならない。結局のところ、「適切なアウトプット」を行うためには「適切な社会調査」の実践が必要不可欠なのである。</p> <p>この授業では量的調査を重点として社会調査法を学ぶ。量的調査、量的分析のプロセスを通して、ロジカルシンキングのエッセンスを習得することとなる。このプロセスでは、エクセルやSPSSをはじめとした表計算・統計ソフトを駆使するので、授業時間外での自主的な取り組み必須となる。この点をあらかじめよく自覚して履修することを求める。</p> <p>なお、質的調査と量的調査は表裏一体の関係であることから、本授業では質的調査についての学びも同時にすすめていく。同時期開講の『質的（フィールド）調査演習』を履修することを強く推奨する。</p> <p>【関連するディプロマポリシー（DP）】</p> <p>DP① グローバル化が進む国際社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、自然と人間、生命と健康、人間と社会、世界と日本など国際教養に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力</p> <p>DP② 自分とは異なる人間や文化を理解しようと心を開き、多様性を尊重し、寛容さを持って相互交流を図ることのできる能力</p> <p>DP④ グローバル市民として活躍するための基盤となる国際的な教養に加え、文化を超えて活躍できる専門性（グローバル社会、異文化コミュニケーション、グローバルヘルスサービス領域）を備え、人類が直面する問題を発見し、解決策を探る多面的かつ柔軟な思考力と行動力</p>			
授業の達成目標			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会調査とは何かを他者に説明できる。</li> <li>2. データの管理にエッセンスを他者に説明できる。</li> <li>3. 調査票の作成において基本的な知識を説明できる。</li> <li>4. データを集計し、基礎的分析ができる。</li> <li>5. 社会調査の課題を説明できる。</li> </ol>			
成績評価方法			
定期試験と授業内課題により評価する。評価基準は定期試験60%、授業内課題30%、総合判定10%。			
履修上の注意（受講条件・受講に当たって学生に望むこと）			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 履修希望者が多すぎる場合には適切な授業運営上抽選をすることがある。</li> <li>2. 本授業の内容は『質的（フィールド）調査演習』と連動する部分が多いため、履修希望者は本授業と合わせて『質的（フィールド）調査演習』を履修することを強く推奨する。</li> <li>3. 本授業はエクセルとspssを授業中に頻繁に使用する。特にエクセルについては予習・復習課題をこなす上で積極的に使用することが求められる。その覚悟をもって履修をすること。</li> <li>4. 学生の理解度により授業内容や授業構成が変更されることがある。またコロナウィルス対応の点から大幅な変更を行う可能性がある。このことをあらかじめ知っておくこと。</li> </ol>			
テキスト・参考書			
<p>本授業では教科書の指定はしない。しかし、授業内容をさらにすすんで学びたい学生には下記の文献をお薦めする。</p> <p>ボンシュテット&amp;ノーキ、『社会統計学—社会調査のためのデータ分析入門』（ハーベスト社）</p> <p>林拓也『（改訂版）社会統計学入門』（放送大学教育振興会）</p>			
オフィスアワー			
基本は月曜日12：10～12：50。ただし、必ずメールでアポをとってください。			
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法			
J-passのクラスプロファイル機能を使用して行う。その他の場合には、授業内で指示する。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】			
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等（予習、復習レポート等課題の指

			示)
1	大槻 茂実	暮らしの中の統計学	【予習】本授業のシラバスを精読し、記述統計とは何かを調べておくこと(90分程度) 【復習】授業内で指示する(課題所要時間は90分程度)
2	大槻 茂実	データの基礎集計①変数の種類	【予習】変数とは何か、調べて言語化しておくこと(90分程度) 【復習】授業内で指示する(課題所要時間は90分程度)
3	大槻茂実	データの基礎集計②度数分布とグラフ	【予習】グラフと表のそれぞれの特徴を自分なりに考えておくこと(90分程度) 【復習】授業内で指示する(課題所要時間は90分程度)
4	大槻 茂実	代表値と散らばりの記述①中央値, 最頻値, 平均値	【予習】直前の授業で指示する。予習課題所要時間は90分程度をみておくこと。 【復習】授業内で指示する(課題所要時間は90分程度)
5	大槻 茂実	代表値と散らばりの記述②分散, 標準偏差	【予習】直前の授業で指示する。予習課題所要時間は90分程度をみておくこと。 【復習】授業内で指示する(課題所要時間は90分程度)
6	大槻 茂実	散らばりの記述と標準点	【予習】直前の授業で指示する。予習課題所要時間は90分程度をみておくこと。 【復習】授業内で指示する(課題所要時間は90分程度)
7	大槻 茂実	標本に基づく推測統計①統計的推定	【予習】直前の授業で指示する。予習課題所要時間は90分程度をみておくこと。 【復習】授業内で指示する(課題所要時間は90分程度)
8	大槻 茂実	標本に基づく推測統計②統計的検定	【予習】直前の授業で指示する。予習課題所要時間は90分程度をみておくこと。 【復習】授業内で指示する(課題所要時間は90分程度)
9	大槻 茂実	2変数間の関連を捉える①グループ間の平均の検定	【予習】直前の授業で指示する。予習課題所要時間は90分程度をみておくこと。 【復習】授業内で指示する(課題所要時間は90分程度)
10	大槻 茂実	2変数間の関連を捉える②クロス集計表と独立性の検定	【予習】直前の授業で指示する。予習課題所要時間は90分程度をみておくこと。 【復習】授業内で指示する(課題所要時間は90分程度)
11	大槻 茂実	2変数間の関連を捉える③相関係数	【予習】直前の授業で指示する。予習課題所要時間は90分程度をみておくこと。 【復習】授業内で指示する(課題所要時間は90分程度)
12	大槻 茂実	2変数間の関連を捉える④単回帰分析1	【予習】直前の授業で指示する。予習課題所要時間は90分程度をみておくこと。 【復習】授業内で指示する(課題所要時間は90分程度)
13	大槻 茂実	2変数間の関連を捉える④単回帰分析2	【予習】直前の授業で指示する。予習課題所要時間は90分程度をみておくこと。 【復習】授業内で指示する(課題所要時間は90分程度)
14	大槻 茂実	2変数間の関連を捉える④単回帰分析3	【予習】直前の授業で指示する。予習課題所要時間は90分程度をみておくこと。 【復習】授業内で指示する(課題所要時間は90分程度)
15	大槻 茂実	変数の統制と多変量解析の紹介	【予習】直前の授業で指示する。予習課題所要時間は90分程度をみておくこと。 【復習】授業内で指示する(課題所要時間は90分程度)

--	--	--	--

授業科目名	質的（フィールド）調査演習	授業形態	講義
英語科目名	Applied Qualitative Research Methods	開講学期	後期
対象学年	2	単位数	2
科目責任者	大槻 茂実	ナンバリング	4203
科目担当者			
大槻 茂実			
授業の概要			
<p>食材（データ）が悪ければ、いかに優れた調理（分析）を実施しても満足のいく料理（アウトプット）は得られない。</p> <p>例えばあなたがSDGsの解決に向けた何かしらの政策提言を試みたとして。そうした提言に説得力をもたせるために「適切なデータ分析」にもとづいた「適切なアウトプット」が必要なのは想像に難しくない。そうでなければ、あなたのアイディアに反対する者を説得することなど到底できないからだ。しかしながら、「適切なデータ分析」を行うためには、そもそも「適切なデータ」が入手できなくてはならない。結局のところ、「適切なアウトプット」を行うためには「適切な社会調査」の実践が必要不可欠なのである。</p> <p>この授業では質的調査を重点として社会調査法を学ぶ。質的調査は科学的ではないといった批判がある。こうした批判はある点において妥当であり、ある点においては的外れでもある。本授業の履修者は、このような批判を相対化した上で適切な質的調査を実践する上での要点を習得することとなる。</p> <p>なお、質的調査と量的調査は表裏一体の関係であることから、本授業では量的調査についての学びも同時にすすめていく。同時期開講の『量的調査演習』を履修することを強く推奨する。</p> <p>【関連するディプロマポリシー（DP）】</p> <p>DP① グローバル化が進む国際社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、自然と人間、生命と健康、人間と社会、世界と日本など国際教養に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力</p> <p>DP② 自分とは異なる人間や文化を理解しようと心を開き、多様性を尊重し、寛容さを持って相互交流を図ることのできる能力</p> <p>DP④ グローバル市民として活躍するための基盤となる国際的な教養に加え、文化を超えて活躍できる専門性（グローバル社会、異文化コミュニケーション、グローバルヘルスサービス領域）を備え、人類が直面する問題を発見し、解決策を探る多面的かつ柔軟な思考力と行動力</p>			
授業の達成目標			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会調査とは何かを他者に説明できる。</li> <li>2. 社会調査における倫理を他者に説明できる。</li> <li>3. 質的調査の方法的意義を他者に説明できる。</li> <li>4. 質的調査を実践する上で事前準備を他者に説明できる。</li> <li>5. 社会調査の課題を説明できる。</li> </ol>			
成績評価方法			
<p>定期試験と授業内課題により評価する。評価基準は定期試験50%、授業内課題40%、総合判定10%。</p> <p>定期試験はレポート形式となる可能性があることをあらかじめ知っておくこと。</p>			
履修上の注意（受講条件・受講に当たって学生に望むこと）			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 履修希望者が多すぎる場合には適切な授業運営上抽選をすることがある。</li> <li>2. 本授業の内容は『量的調査演習』と連動する部分が多いため、履修希望者は本授業と合わせて『量的調査演習』を履修することを強く推奨する。</li> <li>3. 本授業は授業時間外に家族や友人に対するインタビュー調査の実施を求める。このことをあらかじめ知っておくこと。</li> <li>4. 学生の理解度により授業内容や授業構成が変更されることがある。またコロナウィルス対応の点から大幅な変更を行う可能性がある。このことをあらかじめ知っておくこと。</li> </ol>			
テキスト・参考書			
<p>本授業では教科書の指定はしない。しかし、授業内容をさらにすすんで学びたい学生には下記の文献をお薦めする。</p> <p>Earl R. Babbie 『The Practice of Social Research』（Wadsworth Pub Co）</p> <p>ウィリアム・フット・ホワイト 『ストリート・コーナースタディ』（有斐閣）</p>			
オフィスアワー			
基本は月曜日12：10～12：50。ただし、必ずメールでアポをとってください。			
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法			
J-passのクラスプロファイル機能を使用して行う。その他の場合には、授業内で指示する。			

授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】			
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等（予習、復習レポート等課題の指示）
1	大槻 茂実	社会調査の目的	【予習】本授業のシラバスを精読し、社会調査とは何かを調べておくこと（90分程度） 【復習】授業内で指示する（課題所要時間は90分程度）
2	大槻 茂実	調査のサイクル、質的調査と量的調査	【予習】自分が調査したいテーマを言語化しておくこと（90分程度） 【復習】授業内で指示する（課題所要時間は90分程度）
3	大槻 茂実	調査倫理・個人情報・調査公害	【予習】国勢調査の回収率を調べておく（90分程度） 【復習】授業内で指示する（課題所要時間は90分程度）
4	大槻 茂実	調査の事前準備①問題関心と先行研究の整理	【予習】自分で調査テーマを定め、それに関する文献収集を行うこと（90分程度） 【復習】授業内で指示する（課題所要時間は90分程度）
5	大槻 茂実	調査の事前準備②分析枠組み、調査対象者とのコンタクト	【予習】自分の問題関心を図式化すること（90分程度） 【復習】授業内で指示する（課題所要時間は90分程度）
6	大槻 茂実	調査の事前準備③挨拶状をつくる	【予習】丁寧な手紙の書き方を整理しておくこと（90分程度） 【復習】授業内で指示する（課題所要時間は90分程度）
7	大槻 茂実	調査の事前準備④調査票をつくる	【予習】分析枠組みに沿った質問項目を作成しておくこと（90分程度） 【復習】授業内で指示する（課題所要時間は90分程度）
8	大槻 茂実	調査の事前準備⑤調査票を完成させる	【予習】前回の授業内容を踏まえ、調査票を完成させること（90分程度） 【復習】授業内で指示する（課題所要時間は90分程度）
9	大槻 茂実	質的調査の面白さ	【予習】前回の授業内容を踏まえ、自分で質的調査を企画する場合、何を焦点とすべきかを言語化しておくこと（90分程度） 【復習】授業内で指示する（課題所要時間は90分程度）
10	大槻 茂実	フィールドから離れる	【予習】普段のサークルや友人コミュニティなどを「観察者」として調査し、知見を探すこと（90分程度） 【復習】授業内で指示する（課題所要時間は90分程度）
11	大槻 茂実	調査研究としての倫理	【予習】前回の授業までに提示したテーマに沿って家族もしくは友人にインタビュー調査を行うこと（90分程度） 【復習】授業内で指示する（課題所要時間は90分程度）
12	大槻 茂実	フィールドから離れる	【予習】対象と寄り添うことの意義と弊害を言語化しておくこと（90分程度） 【復習】授業内で指示する（課題所要時間は90分程度）
13	大槻 茂実	様々な質的調査手法	【予習】これまでの授業で学んだ以外のアプローチで社会調査が可能か検討しておくこと（90分程度） 【復習】授業内で指示する（課題所要時間は90分程度）
14	大槻 茂実	混合研究法	【予習】質的データを客観的に比較することが可能か検討しておくこと（90分程度） 【復習】授業内で指示する（課題所要時間は90分程度）
15	大槻 茂実	まとめと社会調査のトレンド	【予習】授業内で指示するので、これまでの授業内容を整理しておくこと（課題所要時間は90分程度） 【復習】授業内で指示する（90分程度）
